

現 場 説 明 書（技術的事項）

工事名 （仮称）川南公園便所新築給排水衛生設備工事

1．現場の状況

本工事場所は、福山市神辺町地内です。

本工事は川南地区の土地整理事業に伴う便所新築工事の給排水衛生設備工事です。

また、図面に記載のとおり、本工事において上下水道局への申請は別途工事にて対応する予定です。

2．留意事項

- ① 本工事の受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- ② 本工事は建設リサイクル法に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに建設副産物情報交換システム（コブリス・プラス）の計画書・実施書を提出してください。
- ③ 現場代理人及び主任技術者については、契約約款・建設業法等に違反とならないよう適切に配置し、当該工事の施工管理を行ってください。
- ④ 工事期間中は施設利用者・職員及び第三者の安全確保に細心の注意を払い、必要な対策を講じてください。
- ⑤ 工事で既存工作物等に損傷を与えないように必要な対策を講じてください。なお損傷を与えた場合には、監督員及び施設管理者と協議のうえ、速やかに復旧してください。
- ⑥ 工程表は契約後14日以内に提出してください。その際、作業工程については監督員及び施設管理者と十分に協議調整の上、作成してください。また、施工計画書等は速やかに提出してください。
- ⑦ 工事の施工上、官公署への手続きが必要な場合は、受注者の責任において速やかに行ってください。
- ⑧ 別途関連工事業者との調整を行い、円滑な工事の遂行に努めてください。

3．別途関連工事

- ・ 建築工事
- ・ 電気設備工事
- ・ 公園整備工事

(仮称)川南公園便所新築給排水衛生設備工事

図 面 リ ス ト					
図 番	図 面 名 称	縮 尺	図 番	図 面 名 称	縮 尺
M／ ₁	機械設備工事特記仕様書No. 1		／		
M／ ₂	機械設備工事特記仕様書No. 2		／		
M／ ₃	附近見取図 配置図	N. S. 1:200	／		
M／ ₄	詳細配置図 平面図、勾配図	1:50 1:30	／		
／			／		
／			／		
／			／		
／			／		
／			／		

福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課

 福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課					
主務	係員	第1担当次長	第2担当次長	設備課長	建築部長

縮 尺 率	A-1：100%
	A-2： 71%
	A-3： 50%

排水設備	（屋 内） ① 管 （第1棟まで） ② 通気管 3 満水試験継手 4 ビット内配管保温 （屋 外） ④ 方式 ⑥ 管 ⑧ インバート樹 ⑩ インバート樹用蓋 9 排水樹 10 排水樹用蓋 ⑫ 埋設深さ 12 その他	※ 硬質ポリ塩化ビニル管 （ J I S K 6 7 4 1 ） V P （ ・ 露出部 カラーV P ） ・ 排水用鉛管 （ S H A S E - S 2 0 3 ） ・ コーティング銅管 ・ 結露防止層付塩化ビニル管 ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 配管用炭素銅鋼管 （ J I S G 3 4 5 2 ） S G P ・ 配管用炭素銅鋼管 （ J I S G 3 4 5 2 ） S G P ③ 硬質ポリ塩化ビニル管 （ J I S K 6 7 4 1 ） V P （ ・ 露出部 カラーV P ） ・ 耐火二層管 ・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 3階以上にわたる排水立て管には、各階ごとに満水試験継手を取付ける。 ・ 施工する ・ 施工しない ③ 自然排水 ・ ポンプ排水 ③ 硬質ポリ塩化ビニル管 （ J I S K 6 7 4 1 ） （ ・ V P ※ V U ） ・ SA、AB形 ・ SC形 ③小口径 ③ 塩ビ製 ・ 鋳鉄製 （ ・ MHA ・ MHB ・ 小口径用防護ハット ） ・ RA、RB形 ・ SC型 ・ 小口径 ・ 塩ビ製 ・ 鋳鉄製 （ ・ MHA ・ MHB ・ 小口径用防護ハット ） ・ グレーチング ・ 鉄板製 ③ 6m/m ・ 300m/m以上（車両道路以外） ③ 600m/m以上（車両道路） ③ 勾配図による。 ・ 配管工事完了後、防露工事前に監督員立会の上、通水試験を行う。 ・ 配管途中、埋戻し前又は配管完了後、防露工事前に監督員立会の上満水試験を行う。	ガ ス 設 備	1 種別 2 管 3 継手 4 プロパンガス集合装置 5 機器等 6 遮断装置等 7 その他 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 配管用炭素銅鋼管 （ J I S G 3 4 5 2 ）（ 白 管 ） ・ 圧力配管用炭素銅鋼管 （ J I S G 3 4 5 4 ）（ 黒 管 ） ・ ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ・ ガス用ポリエチレン管 （ J I S K 6 7 7 4 ） ・ ポリエチレン被覆銅管 （ J I S G 3 4 6 9 ） ・ 塩化ビニル被覆銅管 ・ 銅管継手 （ 亜鉛メッキ ） ・ PLS継手同等品以上 ・ 溶接継手 ・ （ ） kg （ ） 本立 ・ 無 ・ バルク貯槽 （ ） kg ・ 壁型 ・ 機型 ・ 別図による ・ 遮断弁 ・ ガス漏れ警報器 ・ 取付は （ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） とする。 ・ 配線接続は （ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） とする。 コントローラーは圧力確認復帰形とする。 ・ 本工事は、当地区ガス会社責任施工とする。 気密試験は、配管途中埋戻前又は、配管完了後監督員立会いの上試験を行う。	自動 制 御 設 備	1 中央監視制御装置 2 電源装置 3 計装工事の記録 ・ 有り （ 構成機能図は図示による ） ・ 無し ・ 要 （ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） ・ 不要 ・ 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。															
		③ 埋設深さ 12 その他		1 設計条件 2 冷水・温水・冷却水 冷温水管 膨張・補給水管 3 蒸気・油管及び冷媒管 4 ブライン管 5 給水及び排水管 6 ファンコイルユニット 及びパッケージエアコン 7 フレキシブルジョイント 8 吹出口・吸込口 9 防煙・防火ダンパー 10 風道 11 冷温水管の空気抜 12 その他 13 予備品等		<table><tr><th rowspan="2">条 件</th><th colspan="2">屋 外</th><th colspan="2">屋 内</th></tr><tr><th>温度（DB）</th><th>湿度（RH）</th><th>温度（DB）</th><th>湿度（RH）</th></tr><tr><td>夏 季</td><td>35.0℃</td><td>67.1%</td><td>28.0℃</td><td>50.0[※]%</td></tr><tr><td>冬 季</td><td>0.1℃</td><td>71.5%</td><td>19.0℃</td><td>40.0[※]%</td></tr></table> ※ 湿度調節機能がない設備については、成行とする。 ・ 水道用亜鉛メッキ銅管 （ J I S G 3 4 4 2 ） SGPW ・ 配管用炭素銅鋼管 （ 白 管 ） （ J I S G 3 4 5 2 ） SGP ・ 一般配管用ステンレス鋼管 （ J I S G 3 4 4 8 ） SUS304 ・ 配管用炭素銅鋼管 （ 黒 管 ） （ J I S G 3 4 5 2 ） SGP ・ 断熱材被覆銅管 （ JCDA0009） ・ 配管用炭素銅鋼管 （ 黒 管 ） （ J I S G 3 4 5 2 ） SGP 給、排水設備の項による。 ・ 床置形 ・ 天吊形 （ ・ 露出 ・ 隠ベイ形 ・ カセット形 ） ・ ・ ステンレス製ベローズ形 ・ 合成ゴム製 ・ 枠及びスリットの材質は ・ 銅板製 ・ アルミニウム製 ・ 防煙ダンパー（SD） ・ 防火ダンパー（FD） ・ 防煙防火ダンパー（SFD） ・ 防煙ダンパーは ・ 電気式 ・ 空気式 ・ ダンパー復帰機構は ※ 遠隔式 ・ 手元式 ・ グラスウールダクト（円形ダクト）（注：火気使用室、多湿箇所は使用不可） ・ 亜鉛鉄板製（空調、換気、排煙） ・ 銅板製（排煙） （ ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト ） 長方形ダクトは ※コーナースポルト工法 （ ・ 共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 ） 消音材を内貼りした風道、チャンパーは図示寸法は内法寸法とする。 ・ ダンパー前後の風量測定口は、図示した箇所に設ける。 ・ 空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜弁を設ける。自動空気抜弁は、元バルブ付とする。 試験は、配管途中若しくは隠すべし、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。 空気調和設備機器取付完了後試運転調整を行ない、風量、温度、湿度及び騒音の測定を行い、測定表を提出する。 ・ 冷媒及び吸収液等の処理については、回収後適正に破壊処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ・ 業務用冷凍空調機器は、「フロン排出抑制法」に従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 法に基づく機器台帳を製作し監督員に提出する。 ・ 特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）の対象となるものは、同法の定めに従って適切に処理し、その結果を書面をもって監督員に報告する。 ※ 機器表特記による。 ・ 空気調和機等又はフィルターチャンパーの装着枚数の （ ） %を予備品（枠付）として納める。	条 件	屋 外		屋 内		温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	夏 季	35.0℃	67.1%	28.0℃	50.0 [※] %	冬 季
条 件	屋 外		屋 内																		
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）																	
夏 季	35.0℃	67.1%	28.0℃	50.0 [※] %																	
冬 季	0.1℃	71.5%	19.0℃	40.0 [※] %																	
給湯設備	1 方式 2 管 3 井 4 熱源 5 膨張水槽 6 その他	・ 単管式 ・ 復管式 ・ 銅管 （ J I S H 3 3 0 0 ）（ ・ Mタイプ ・ Lタイプ ） ・ 被覆銅管 （呼び径20までとする） ・ 水道用亜鉛メッキ銅管 （ J I S G 3 4 4 2 ） SGPW ・ 保温付被覆銅管（ J I S H 3 3 0 0の外面に発泡断熱材（14mm以上）で被覆したもの） ・ 一般配管用ステンレス鋼管 （ J I S G 3 4 4 8 ） SUS304 ・ 架構ポリエチレン管 ・ ポリブテン管 ・ J I S 1 0 K ・ J I S 5 K ・ ボ イ ラ ー （ ） ・ 給湯器、湯沸器 （ ） ・ 電気温水器 （ ） ・ ヒートポンプ式給湯器（ ） ・ ステンレス製 （ ） ・ 銅 板 製 （ ） ・ コンクリート埋設管内の保温はアスファルトジュート1回巻きとする。 配管終了後、保温施工前に監督員立会の上、規定の水圧試験を行う。	空 気 調 和 設 備	1 管 2 井 3 消火栓箱 4 水源用水槽 5 消火ポンプユニット 6 ポンプ基礎 7 消火器 8 保温 9 その他	・ 水道用亜鉛メッキ銅管 （ J I S G 3 4 4 2 ） SGPW ・ 圧力配管用炭素銅鋼管（第2種亜鉛メッキ製品）（ J I S G 3 4 5 4 ） STPG ・ 配管用炭素銅鋼管 （ J I S G 3 4 5 2 ） SGP ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆銅管 （ WSP 041 ） SGP-VS ※消火用配管は、消防法令に適合するものとする。 ・ J I S 1 0 K ・ ・ 総合形（ ・ HB-1A ・ HB-1B ） ・ 単独形（ ・ HB-2A ・ HB-2B ） ・ 総合形（ ・ HB-4A ・ HB-4B ） ・ 消火器箱併設形（ ・ HB-1AS ・ HB-1BS ） ・ ステンレス製 （ ） ・ 銅 板 製 （ ） ・ 認定型 φ× ∕min× m kW× 台 ・ 標準 型 ・ 防振 型 イ） 呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ロ） 充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ハ） 消火配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡送水用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡放水用 ・ 施工しない ・ 施工する 水圧試験及び消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。																
		③ 埋設深さ 12 その他		1 管 2 井 3 消火栓箱 4 水源用水槽 5 消火ポンプユニット 6 ポンプ基礎 7 消火器 8 保温 9 その他	・ 水道用亜鉛メッキ銅管 （ J I S G 3 4 4 2 ） SGPW ・ 圧力配管用炭素銅鋼管（第2種亜鉛メッキ製品）（ J I S G 3 4 5 4 ） STPG ・ 配管用炭素銅鋼管 （ J I S G 3 4 5 2 ） SGP ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆銅管 （ WSP 041 ） SGP-VS ※消火用配管は、消防法令に適合するものとする。 ・ J I S 1 0 K ・ ・ 総合形（ ・ HB-1A ・ HB-1B ） ・ 単独形（ ・ HB-2A ・ HB-2B ） ・ 総合形（ ・ HB-4A ・ HB-4B ） ・ 消火器箱併設形（ ・ HB-1AS ・ HB-1BS ） ・ ステンレス製 （ ） ・ 銅 板 製 （ ） ・ 認定型 φ× ∕min× m kW× 台 ・ 標準 型 ・ 防振 型 イ） 呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ロ） 充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ハ） 消火配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡送水用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡放水用 ・ 施工しない ・ 施工する 水圧試験及び消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。																
消火設備	1 処理種別 2 構造 3 形式・容量 4 排水方式 5 マンホール 6 その他	・ 小規模合併処理 ・ 合併処理 ・ 単独処理槽 ・ 放流水質 （ ・ BOD mg／ 以下 ・ COD mg／ 以下 ・ T-N mg／ 以下 ・ T-P mg／ 以下 ） ・ 分離接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 分離ばっ気方式 ・ その他（ ） ・ ユ ニ ッ ト型 （ 型 人槽 ∕日 ） ・ 現場施工型 （ 人槽 ∕日 ） ・ 自然排水 ・ ポンプ排水 （ ） ・ MHA型 ・ MHB型 ・ 製造者の規格品 工事竣工後、6ヶ月間は試運転調整とし、 処理水試験の報告書を作成し、浄化槽法による法定検査を受注者の責任において受ける。 槽の水張り試験及び配管の満水、水圧、通水、空気圧試験を行う。 無償保守点検期間中の消耗薬剤については、受注者において準備し、期間終了後の引継時までに必要薬剤名やその量を報告する。	換 気 設 備	1 ダクト 2 風量測定口 3 ダンパー 4 排気ダクトのシール 5 チャンパー 6 保温 ・ 低圧ダクト（ ・ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法（ ・ 共板 ・ スライド ） ・ アングル工法 ） とする。 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一層手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。 ・ グラスウールダクト（円形ダクト）（注：火気使用室、多湿箇所は使用不可） 取付位置は （ ・ 図示した位置 ・ 遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト ） とする。 空気調和設備の当該項目による。 ・ 浴室 （ シャワー室、脱衣室を含む ） 系統 空気調和設備の当該項目による。 下記ダクトの保温を行う。 ・ 全熱交換器用のダクト （ 保温の厚さ25mm、範囲は図示による。） ・ （ ・ 厨房・湯沸室・ ） のダクト（仕様はh・(イ)・Ⅶとし範囲は図示による。） ・ OAダクト 機器から外壁の間（保温の厚さ25mm） ・ EAダクト 外壁より1m （ 保温の厚さ25mm）																	
		③ 埋設深さ 12 その他		1 管 2 井 3 消火栓箱 4 水源用水槽 5 消火ポンプユニット 6 ポンプ基礎 7 消火器 8 保温 9 その他			・ 水道用亜鉛メッキ銅管 （ J I S G 3 4 4 2 ） SGPW ・ 圧力配管用炭素銅鋼管（第2種亜鉛メッキ製品）（ J I S G 3 4 5 4 ） STPG ・ 配管用炭素銅鋼管 （ J I S G 3 4 5 2 ） SGP ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆銅管 （ WSP 041 ） SGP-VS ※消火用配管は、消防法令に適合するものとする。 ・ J I S 1 0 K ・ ・ 総合形（ ・ HB-1A ・ HB-1B ） ・ 単独形（ ・ HB-2A ・ HB-2B ） ・ 総合形（ ・ HB-4A ・ HB-4B ） ・ 消火器箱併設形（ ・ HB-1AS ・ HB-1BS ） ・ ステンレス製 （ ） ・ 銅 板 製 （ ） ・ 認定型 φ× ∕min× m kW× 台 ・ 標準 型 ・ 防振 型 イ） 呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ロ） 充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ハ） 消火配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡送水用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡放水用 ・ 施工しない ・ 施工する 水圧試験及び消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。														
浄化槽設備	1 処理種別 2 構造 3 形式・容量 4 排水方式 5 マンホール 6 その他	・ 小規模合併処理 ・ 合併処理 ・ 単独処理槽 ・ 放流水質 （ ・ BOD mg／ 以下 ・ COD mg／ 以下 ・ T-N mg／ 以下 ・ T-P mg／ 以下 ） ・ 分離接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 分離ばっ気方式 ・ その他（ ） ・ ユ ニ ッ ト型 （ 型 人槽 ∕日 ） ・ 現場施工型 （ 人槽 ∕日 ） ・ 自然排水 ・ ポンプ排水 （ ） ・ MHA型 ・ MHB型 ・ 製造者の規格品 工事竣工後、6ヶ月間は試運転調整とし、 処理水試験の報告書を作成し、浄化槽法による法定検査を受注者の責任において受ける。 槽の水張り試験及び配管の満水、水圧、通水、空気圧試験を行う。 無償保守点検期間中の消耗薬剤については、受注者において準備し、期間終了後の引継時までに必要薬剤名やその量を報告する。	換 気 設 備	1 ダクト 2 風量測定口 3 ダンパー 4 排気ダクトのシール 5 チャンパー 6 保温 ・ 低圧ダクト（ ・ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法（ ・ 共板 ・ スライド ） ・ アングル工法 ） とする。 厨房系統の排気用ダクトは標準仕様書よりも一層手厚いものを使用する。 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。 ・ グラスウールダクト（円形ダクト）（注：火気使用室、多湿箇所は使用不可） 取付位置は （ ・ 図示した位置 ・ 遠心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト ） とする。 空気調和設備の当該項目による。 ・ 浴室 （ シャワー室、脱衣室を含む ） 系統 空気調和設備の当該項目による。 下記ダクトの保温を行う。 ・ 全熱交換器用のダクト （ 保温の厚さ25mm、範囲は図示による。） ・ （ ・ 厨房・湯沸室・ ） のダクト（仕様はh・(イ)・Ⅶとし範囲は図示による。） ・ OAダクト 機器から外壁の間（保温の厚さ25mm） ・ EAダクト 外壁より1m （ 保温の厚さ25mm）																	
		③ 埋設深さ 12 その他		1 管 2 井 3 消火栓箱 4 水源用水槽 5 消火ポンプユニット 6 ポンプ基礎 7 消火器 8 保温 9 その他			・ 水道用亜鉛メッキ銅管 （ J I S G 3 4 4 2 ） SGPW ・ 圧力配管用炭素銅鋼管（第2種亜鉛メッキ製品）（ J I S G 3 4 5 4 ） STPG ・ 配管用炭素銅鋼管 （ J I S G 3 4 5 2 ） SGP ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆銅管 （ WSP 041 ） SGP-VS ※消火用配管は、消防法令に適合するものとする。 ・ J I S 1 0 K ・ ・ 総合形（ ・ HB-1A ・ HB-1B ） ・ 単独形（ ・ HB-2A ・ HB-2B ） ・ 総合形（ ・ HB-4A ・ HB-4B ） ・ 消火器箱併設形（ ・ HB-1AS ・ HB-1BS ） ・ ステンレス製 （ ） ・ 銅 板 製 （ ） ・ 認定型 φ× ∕min× m kW× 台 ・ 標準 型 ・ 防振 型 イ） 呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ロ） 充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ハ） 消火配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡送水用 ・ 施工しない ・ 施工する ・ 連絡放水用 ・ 施工しない ・ 施工する 水圧試験及び消防用設備等の機能等についての試験基準に基づく外観試験及び性能試験を行う。														

（仮称）川南公園便所新築給排水衛生設備工事		M
機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 No. 2		2
2025年 9月		
福山市建設局建築部設備課		

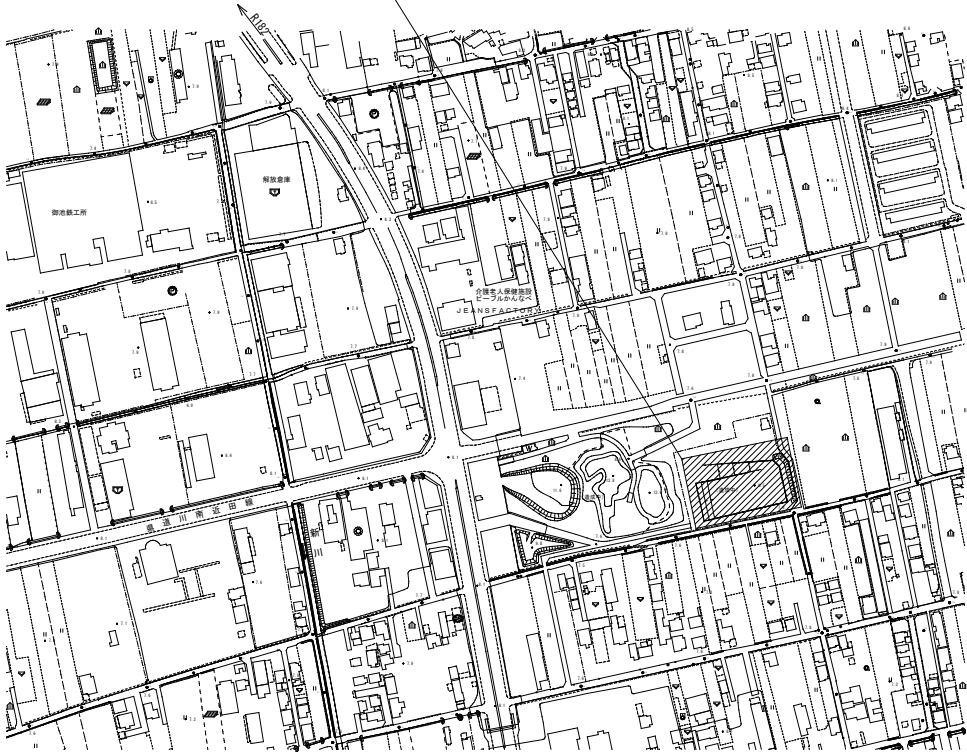
工事概要

本工事は屋外便所新築工事に伴う給排水衛生設備工事です
・屋外便所周りのみが本工事です(M-4図参照)
・その他の部分は別途土木工事です

特記事項

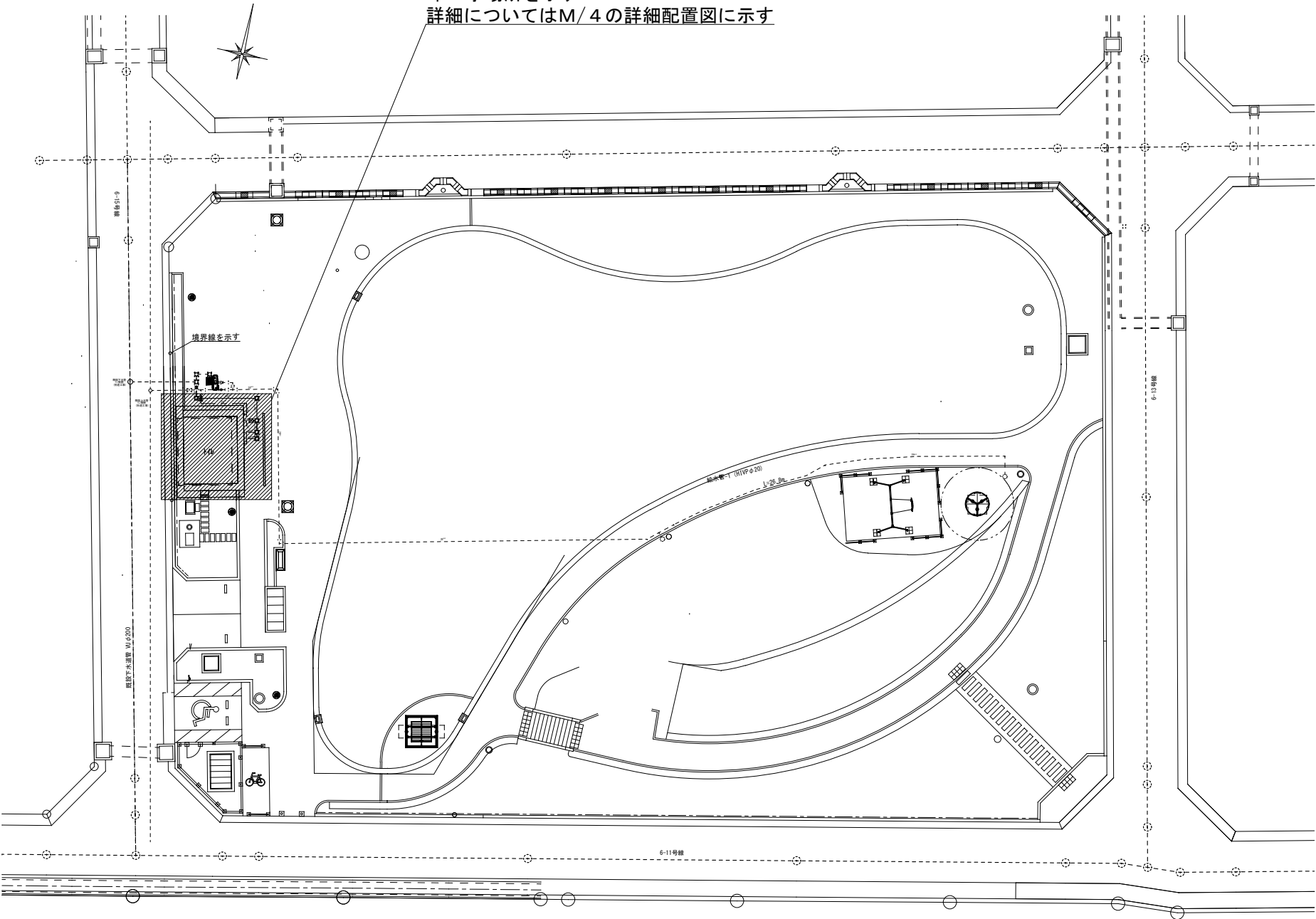
上下水道局への申請は別途工事に対応する予定です。

工事場所: 福山市神辺町地内



附近見取図 N. S.

本工事場所を示す
詳細についてはM/4の詳細配置図に示す



配置図 S=1:200

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

							工 事 名		(仮称)川南公園便所新築給排水衛生設備工事				 福 山 市 建 設 局 建 築 部 設 備 課			図 面 N O .				
																M 3				
							図 面 名 称		附近見取図 S=N. S.		2 0 2 5 年 9 月		主 務	課 員	第1担当次長			第2担当次長	設備課長	建築部長
									配置図 S=1:200											

参考数量書

§ 工事名称 (仮称)川南公園便所新築給排水衛生設備工事

§ 工事場所 福山市神辺町地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「公共建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

設 計 書

工事名称 (仮称)川南公園便所新築給排水衛生設備工事

工事場所 福山市神辺町地内

【工事概要】
(仮称)川南公園便所新築給排水衛生設備工事
衛生器具設備工事・・・一式
給水設備工事・・・一式
排水設備工事・・・一式
換気設備工事・・・一式

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

福山市

福山市

川南公園屋外便所		排水設備工事		排水設備工事		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
プラスチック樹 (鋳鉄製防護ふた)	樹径150φ 最大排水管径100φ DR 801～1200 T- 8	1	組			
プラスチック樹 (鋳鉄製防護ふた)	樹径150φ 最大排水管径100φ 90L、45L 501～800 T- 8	2	組			
プラスチック樹 (鋳鉄製防護ふた)	樹径150φ 最大排水管径100φ 90Y、45Y、45YS 501～800 T- 8	2	組			
プラスチック樹 (鋳鉄製防護ふた)	樹径200φ 最大排水管径100φ BTM 501～800 T-8	1	組			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VU)	地中配管 100A	10	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 100A	12	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 75A	5	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 50A	10	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 40A	8	m			
床排水トラップ (非防水形)	T 5A 50A	2	個			
床上掃除口 (非防水形)	COA 100A	2	個			
通気・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 40A	5	m			
通気・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	機械室・便所 65A	9	m			
排水通気金物	アルミ製 埋込型 65A	1	個			
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	6	m3			
埋戻し	機 械 バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	6	m3			
計						

福山市